



2023年6月14日

各位

会社名 株式会社クラシコム
代表者名 代表取締役社長 青木 耕平
(コード番号：7110 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 経営企画部 部長 山口 揚平
(TEL 042-577-0486)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年9月14日にレンジ形式で公表いたしました2023年7月期の業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年7期通期業績予想数値の修正(2022年8月1日～2023年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,801 ～6,044	866 ～903	870 ～906	601 ～626	82.05 ～85.49
今回修正予想(B)	6,000	920	920	635	86.58
増減額(B-A)	198 ～△44	53 ～16	49 ～13	33 ～8	—
増減率(%)	3.4 ～△0.7	6.1 ～1.9	5.7 ～1.5	5.5 ～1.3	—
(ご参考)前期実績 (2022年7月期)	5,163	841	850	561	87.71

(2) 修正の理由

2023年7月期の期初においては、巣ごもり需要の剥落によりEC市場全体が厳しい環境になったことや、国内の企業物価指数が高い水準にあり様々なものの価格転嫁が進んでおり顧客心理への影響が不透明であったことからレンジ開示としておりました。

EC市場全体としては、新型コロナウイルス感染症への対応のための行動制限が緩和され、経済活動が正常化してきていることから、国内の消費はサービス消費の回復やリアル店舗への回帰などが見られ厳しい状況が続いております。一方で、急激な円安局面は落ち着いたものの、様々な商品・サービスの値上げによって国内消費者物価指数は高い水準が続いており、今後の経済・消費動向については依然として不透明な状況にあります。

引き続き厳しい経営環境にありますが、第3四半期まで順調に進捗しているため2023年7月期の残り期間における予測の精緻化を行った結果、当初の業績予想から大きく変更はなく、開示基準には達しないものの特定値での業績予想に修正することは投資家の投資判断に資するものと考え開示いたしました。

2. 配当予想の修正

(1) 2023年7月期の配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想		—	—
今回修正予想		40.00	40.00
当期実績	0.00		
(ご参考) 前期実績 (2022年7月期)	0.00	0.00	0.00

(2) 修正の理由

業績予想を特定値に修正し、通期でのフリーキャッシュフローの予測ができたため、当社の株主還元方針に基づいて期末配当予想を計算し、その結果を修正予想として開示しました。

なお、当社ではTSR（株主総利回り）を重視した株主還元を行う方針とし、成長と株主還元のバランスを考慮したダイナミックな株主還元を行うことでTSRの安定を図る事を目指しております。還元方針の詳細については、2023年7月期第3四半期決算短信の添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上